

# (2) NEW HORIZON Elementary English Course

# 検討の観点と内容の特色

## (1) 教育基本法との関連

⑤は5年、⑥は6年を表します。  
「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

項目	観点	特色	具体例
1. 教育基本法第一章第二条一に掲げられた目標への対応	①幅広い知識と教養、豊かな情操と道徳心を養うことにつながる内容になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の興味関心に広く訴える題材・素材を取り上げ、関連する言葉への豊かな情操を育成します。</li> <li>道徳教育との関連を図りながら、いじめや差別のない社会や世界の人権を深く考えるための読み物教材で、「読書の感動」を伝えます（QRコード朗読音声付き）。</li> </ul>	各単元 Starting Out (例：⑤ pp.10-11), Over the Horizon (例：⑤ pp.16-17) など、⑥ pp.82-83 (STORY TIME→) 
2. 教育基本法第一章第二条二に掲げられた目標への対応	①職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う内容になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育につながる題材を随所で扱い、未来に夢を持って主体的に学びに向かう心を育てます。</li> <li>外国で活躍する日本人や日本で活躍する外国人を豊富に扱い、国境を越えて働く人々の姿を伝えることによって、グローバル社会を生き抜く日本人の育成をめざします。</li> </ul>	⑤ pp.26-33, Unit 3 「What do you want to study?」, ⑥ pp.72-79 「My Future, My Dream」, ⑤各単元「日本のすてき」(例：p.81) 
3. 教育基本法第一章第二条三に掲げられた目標への対応	①正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を尊重する内容になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストや写真も含め、男女が協力して家庭生活を営み、男女共同参画社会に資する姿を示しています。</li> <li>ペアやグループで取り組む豊富な言語活動を通して、協力し合う心を育みます。</li> </ul>	⑤ pp.74-75 Starting Out, 各単元 Let's Try! (例：⑤ p.12), Enjoy Communication (例：⑤ pp.14-15) 
4. 教育基本法第一章第二条四に掲げられた目標への対応	①生命や自然を尊び、環境の保全に寄与する態度を養う内容になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生き物の生息地や食物連鎖につながる内容を扱い、自然を守る心を養います。</li> <li>水の循環や3Rに関連した内容に触れるなど、理科や社会科の内容に関連して環境を大切にすることを育みます。</li> </ul>	⑥ pp.42-49, Unit 5 「We all live on the Earth.」 
5. 教育基本法第一章第二条五に掲げられた目標への対応	①我が国と郷土を愛する態度を養う内容になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界に日本の良さを発信しようとする児童を育てられるよう、伝統や文化に関する題材を豊富に取り上げています。</li> </ul>	⑤ pp.82-83 Check Your Steps 「『日本のすてき』を紹介しよう」
	②他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う内容になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国の生活や文化を理解し尊重する心を育み、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う題材を多く取り入れています。</li> </ul> 	全般、各 Let's Watch and Think (例：⑤ p.19), 各 Over the Horizon (例：⑥ pp.20-21, pp.58-59)

## (2) 教育課程および学習指導要領への対応

項目	観点	特色	具体例
1. 目標と内容の取り扱い	①外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせた深い学びの実現に対する工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスニングの活動では場面や状況をイラストや写真で示し、児童が内容を推測しながら取り組めるように工夫しています。</li> <li>単元目標に対応した22の「めざす姿」を設定し、目的や場面、状況等に応じて児童が既習事項を選択し、表現できるようにしています。</li> </ul>	各単元 Starting Out (例：⑤ pp.10-11, ⑥ pp.14-15), Enjoy Communication (例：⑤ pp.14-15), Check Your Steps (例：⑤ pp.34-35) など
	②外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動がバランスよく円滑に行える配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声から文字への流れを重視し、各単元が「聞く→話す(やり取り・発表)→読む・書く」の流れで構成されています。</li> <li>どの技能(領域)を重点的に扱う時間なのかを意識できるよう、各活動に技能アイコン(👂🗣️📖✍️)を示しています。</li> </ul> 	各単元 (例：⑤ pp.10-17, ⑥ pp.6-13) ⑤ pp.4-5, ⑥ p.3
	③コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元で3観点別の目標を設定し、指導書等に明記します。また、紙面見開きごとに見取りの中心となる目標を明示し、「何のための活動であるか」を示して評価のめやすとします。</li> </ul>	全般(例：⑤ pp.10-17), 指導書研究編
	④英語の特徴や決まりに関する事項を網羅的かつ適切に身につけることができるようになっているか。(知識・技能)	<ul style="list-style-type: none"> <li>別冊には語彙や表現が整理されており、QRコードなどを使えばメトロノームに合わせて練習することができます。</li> <li>豊富な歌やチャンツで、繰り返し楽しみながら語彙や表現に触れることができ、慣れ親しみやふり返りに有効です。</li> </ul>	別冊 pp.4-31 「Words」, pp.32-37 「基本的な表現を確認しよう」, pp.38-41 「あなただけの表現を見つけよう」 各単元 (例：⑤ p.11, ⑥ p.7)
	⑤情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに適した内容になっているか。(思考・判断・表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が友達や先生について知るための活動や、興味・関心のあることについて話す活動を数多く取り入れています。会話に必然性を持たせることで、児童が目的意識を持って思考を働かせ、言語材料を使う場面を繰り返し登場させます。</li> </ul>	各 Small Talk (例：⑤ p.10), Let's Try (例：⑤ p.12), Enjoy Communication (例：⑤ pp.14-15), Check Your Steps (例：⑤ pp.34-35) など
	⑥他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する内容になっているか。(主体的に学習に取り組む態度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションの工夫について随所で取り上げ、児童が相手意識を持って活動に取り組めるようになっています。</li> <li>相手に配慮した話し方だけでなく、聞き方についても取り上げています。</li> </ul>	各単元 Enjoy Communication (例：⑤ pp.14-15), Tips (例：⑤ p.23, ⑥ p.11, 19, 39 など) Tips (例：⑤ p.79, ⑥ p.55, 69)
	⑦外国語の背景にある文化に対する理解を深められる内容になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国の生活や文化に関する映像教材を豊富に用意しています。</li> <li>各単元には、単元の内容に関連した異文化理解のためのページを用意しています。</li> </ul>	各 Let's Watch and Think (例：⑤ p.11), 「世界のすてき」(例：⑥ p.13) 各 Over the Horizon (例：⑤ pp.16-17)
2. 指導計画と指導への配慮	①指導計画の作成上の配慮は適切になされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Unitはどれも4見開きから成る8時間扱い(各学年8つ)、テーマごとのまとめにあたる Check Your Stepsは2時間扱い(各学年3つ)で、年間計70時間です。1か月あたり1Unitで、進度の目安がつけやすい設計です。</li> </ul>	各単元 (例：⑤ pp.10-17, ⑥ pp.6-13), Check Your Steps (例：⑤ pp.34-35)
	②児童の興味・関心に合った適切な教材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の身近な生活を舞台としたストーリーを設定し、日常生活や学校生活に関連する場面を豊富に取り入れています。</li> <li>他教科の題材や活動を他教科関連マーク(🔄)で多く扱います。</li> </ul>	各単元 Starting Out (例⑤ pp.66-67), ⑥ pp.50-59 Unit 6 「Let's Think about our food.」



## (2) NEW HORIZON Elementary English Course

## 検討の観点と内容の特色

## (3) 教科書の構成上の配慮と工夫

項目	観 点	特 色	具 体 例
1. 内容	①教育基本法や学習指導要領に準じた内容が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育基本法の理念に則り、学習指導要領の目標を達成できるよう、内容を精選して2学年を通した系統性を持たせています。</li> </ul>	⑤表表紙裏-p.1, ⑥表表紙裏-p.1, 別冊 pp.44-45
	 	<p>※別冊は5年生に供給され、2年間使い続けて小学校での学びの履歴とします。中学校でも語彙や表現のふり返りに使えます。初年度は6年生にも供給されます。</p>	 
2. 組織・配列・分量	①学習内容は児童の発達段階に応じて分かりやすく適切に配列されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の自己肯定感を高められるよう、アウトプットの前に十分な音のインプットを取り入れたスモールステップ構成です。</li> <li>過去形（動作を表す語）や頻度を表す語などは、話題に変化をつけながら何度もスパイラルに取り扱い、定着を図ります。</li> </ul>	各単元, ⑤ pp.4-5, ⑥ p.3 頻度: ⑤ pp.66-71, 74-79, ⑥ pp.14-19 過去形: ⑥ pp.34-39, 50-55, 64-69
	②学習方法や授業展開が分かりやすい構成になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全Unitを見開き4パート構成で一貫させ、目標やゴール、おさえるべき表現を明示しており、紙面から授業全体の流れやポイントが指導者にも児童にもしっかり伝わります。</li> </ul>	⑤ pp.4-5, ⑥ p.3, 各単元  , 各単元 (例: ⑤ pp.10-17)
3. 体様の工夫	①全ての児童が使いやすいような体様の工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>語彙・表現集を別冊にしました。単語を4線の上に正しく書き写するときなどに本体の横に並べられるので便利です。</li> <li>児童が書き込んだり切り貼りしたりする本体は大判(A4判サイズ)に、Picture Dictionaryは携帯に便利なAB判サイズにしました。</li> <li>拡大やリフロー、総ルビ・分かち書き表示などの特別支援機能を搭載した学習者用デジタル教科書を用意しています。</li> </ul>	別冊 pp.4-31「Words」, pp.38-41「あなただけの表現を見つけよう」  学習者用デジタル教科書
	②全ての児童が使いやすいような造本の工夫がなされているか。(書き込み・評価・ポートフォリオの機能性など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末にはミシン目入りのカードを用意しました。カードを紙面に貼り込んで、評価やふり返りの材料として活用できます。</li> <li>紙は軽くて丈夫、かつ裏抜けのしにくいものを使用しています。また、巻末は書き込みのしやすい用紙に変更しています。</li> </ul>	本体⑤⑥巻末 ⑤ pp.85-96, ⑥ pp.85-96
	③学習の習慣化への取り組み(規律・態度など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>QRコンテンツやPicture Dictionaryは、家庭学習にも活用できます。ICT環境にない場合の代替となるCDもあります。</li> </ul>	全般 (例: ⑤ pp.4-5, ⑥ p.3, 別冊 p.4, p.32, p.38), 児童用音声CD
4. ユニバーサルデザインへの取り組み	①児童の学びやすさに配慮した紙面構成になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元内の学習要素を定位置に配置し、特別支援が必要な児童を含む全児童や指導者が不安なく学べるよう、工夫しました。</li> </ul>	全般 (例: ⑤ pp.10-35) など
	②特別支援教育への適切な配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の専門家の助言のもと、児童がそのまま書き写して学べる新ユニバーサルデザイン書体を使用し、4線ノートの幅や線種、基線の色使いにも細心の注意を払いました。</li> </ul>	全般, 各 Sounds and Letters (例: ⑤ pp.86-96, ⑥ pp.90-95), Let's Read and Write (⑥ pp.86-89), 別冊
5. 教員の「働き方改革」への配慮	①ALTとの授業など、さまざまな指導に対応する指導案があるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導書研究編の毎時の指導案(目標、授業の流れ、留意点など)に付随して、ALT・専科TT用などバリエーションが豊富です。</li> </ul>	指導書研究編, Webページの複式学級指導案, 短時間学習指導案など
	②授業の準備や評価を効率的に行えるかどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙面上には、指示文などの文字情報や資料ページが充実し、教科書だけでも児童自身が主体的に学んだり理解したりできます。</li> <li>指導書にはワークシートや評価作成システム、教室英語の音声など、指導をサポートするコンテンツを豊富に用意しています。文字を入力すると背景に4線が現れるシステムもあります。</li> </ul>	⑤ pp.80-81, ⑥ pp.10-11, pp.48-49 など  4線入力システム(指導書DVD-ROM), 絵カード作成システム(指導者用デジタルブック), 指導書音声CD
6. 評価への対応	①目標や評価規準は分かりやすく適切に設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年間通しの目標(CAN-DOリスト)のもと、Starting OutからCheck Your Stepsまでの指導の流れと評価が一体化しています。</li> </ul>	⑤ pp.4-5, ⑥ p.3 別冊 Picture Dictionary pp.44-45
	②学習を見取る活動が適切に設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体、別冊ともに、教科書そのものが児童の学びの足跡を記録として残せるポートフォリオになります。</li> </ul>	各 Check Your Steps (例: ⑤ pp.34-35)
7. デジタルコンテンツの充実	①児童の学びを促進するためのデジタルコンテンツが用意されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書のストーリーを実写化した映像や活動の手順を示した映像をはじめ、外国人インタビュー、海外映像、歌やチャント、発音の口形動画などがあります。</li> </ul>	指導者用デジタルブック
	②多様なICT環境に対応しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルブックや各種教材とは別に、QRコード・URLからもコンテンツにアクセスできます。映像と音声は選んで使えます。ICT環境にない学校や家庭でも使える音声CDを用意しています。</li> </ul>	各裏表紙, QRコード 全般 (例: ⑤ p.10, ⑥ p.6, 別冊 p.4)
8. カリキュラム・マネジメントへの取り組み	①短時間学習や60分授業などの実施に適した構成になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙面は1ページ45分、各活動は主に約15分単位で構成されています。Starting Outは紙面を上中下段に分割し、特に上下の帯は短時間学習に適しています。</li> </ul>	全般 (例: ⑤ pp.10-15, ⑥ pp.6-11), 各単元 Starting Out
	②複式学級での取り扱いを見据えた適切な配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学年のテーマを緩やかにつなぎ、言語材料を系統立てて繰り返す配列で、異学年が学び合う良さを生かした指導ができます。</li> </ul>	⑤ pp.10-17 と ⑥ pp.6-13: 自己紹介など
9. 小学校中学年・中学校・高等学校接続への工夫	①小学校中学年、中学校との適切な連携が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文部科学省発行の『Let's Try!』で慣れ親しんだ言語材料を各単元の導入の音声でふり返り、円滑な接続を図っています。</li> <li>別冊 Picture Dictionaryには中学校の学習を見据えた語彙が収載され、大人になっても活用できます。</li> </ul>	⑤ p.8「学び方みつけた1」, 各単元 Starting Out (例: ⑤ pp.10-11, ⑥ pp.6-7) など 別冊 Picture Dictionary 全般
10. 教科横断への工夫	①他教科との関連(SDGs・消費者教育対応)	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLILの専門家の助言のもと、国語科、社会科、算数、家庭科、理科、図画工作科、音楽科などとの関連を図っています。</li> </ul>	⑥ pp.50-59, Unit 6「Let's think about our food.」など
	②人権教育(いのち・いじめ問題)への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記「(1)教育基本法との関連1」のほかにも、外国の人に向けた多言語表示の標識、パラリンピック、アジア・アフリカ・南米・オセアニアなどの題材を広く取り扱っています。</li> </ul>	⑥ pp.82-83「Butterfly Friends」, ⑤ p.36: 広域避難場所, p.53: ピクトグラム, ⑥ p.14: ワンガリ・マータイ
	③道徳教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育や国際理解の題材を随所に配置しながら、2学年を通して、単元のテーマの流れを「特別の教科 道徳」の四つの視点に沿って構成しています。</li> </ul>	⑥ pp.72-79「My Future, My Dream」, 各 Over the Horizon (例: ⑥ pp.12-13), ⑤表表紙裏-p.1, ⑥表表紙裏-p.1
	④伝統文化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の魅力を世界に伝えたい児童の思いを引き出せるよう、伝統・文化に関する題材や地域教材を教科書、指導書、周辺教材、Webページにふんだんに用意しています。</li> </ul>	⑤ Over the Horizon「日本のすてき」全般, pp.82-83 Check Your Steps「『日本のすてき』を紹介しよう」